

シリーズ地域おこし協力隊① 鹿町・江迎地域の誇れる魅力を発信！

佐世保の皆さん、はじめまして。ことしから地域おこし協力隊として鹿町・江迎地域を担当する金城和希です。出身は沖縄の糸満市で、小学校までは親の仕事の都合で全国を転々としてきました。ことし3月に長崎市内の大学を卒業し、担当する鹿町・江迎地域で実際に生活しながら地域の人たちに支えられて活動しています。

佐世保はSSKや護衛艦などに代表される「鉄の町」で、ハウステンボスや佐世保バーガーなどもあって「来て楽しい、食べておいしい地域」という印象がありました。一方、担当する地域は少し異なる印象です。鹿町には青々とした木々が生い茂る山と美しい九十九島を有する海があり、自然豊かな場所です。初めて訪れたとき、口ノ里の棚田から見る風景や夕日に感動しました。また、他では味わえないほど魚がおいしく、当たり前のように食べられる鹿町の豊かさにうらやましさを感じました。江迎は千灯籠祭りや藪玉祭りなどのお祭りが盛んで、華やかな印象です。本陣屋敷や潜龍酒造など歴史も古く、地域の人たちは交流してみると人情に厚く、江迎活性化協議会など地域を盛り上げようと頑張るエネルギッシュな雰囲気を

感じました。

最初はこの地域の協力隊として活動できることをうれしく思う反面、地域になじめるのか不安もありました。協力隊員になって3カ月。まだまだ勉強不足なところはありますが、地域の皆さんと話したり、消防団に入ったりと交流をする中で、地域の皆さんに私のことを知っていただけるようになりました。今後は鹿町・江迎地域の人として、誇れる地域の魅力を発信し、住んでいる皆さんが「よりよい」と思ってもらえる地域づくりのお手伝いができるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

最後になりますが、8月13日(日)は鹿町ふるさと祭り、8月23日(水)、24日(木)は江迎千灯籠祭りがあります。ぜひこの機会に鹿町・江迎地域に遊びに来てください。

☎地域政策課 ☎24-1111



※このコーナーではシリーズ国際交流と隔月で市内で活動する6人の地域おこし協力隊からのレポートを紹介いたします。

させば市政だより～キラっ都させば～ 「8つのリーディングプロジェクト」

朝長市長が市の施策などについてお知らせする番組「させば市政だより～キラっ都させば～」を7月から放送します。第1回放送では8つのリーディングプロジェクトを紹介！番組では毎回プレゼントを用意し、YouTubeでも公開しています。どうぞご覧ください。

【放送スケジュール】

- 7月1日④、15日④、29日④ ⇒ 9:25 NBC、11:45 KTN
- 7月8日④、22日④、29日④ ⇒ 11:40 NCC
- 7月9日④、23日④、30日④ ⇒ 6:30 NIB
- 毎週日曜 ⇒ 6:55 テレビ佐世保



※スマートフォンなどからの視聴はこちらからどうぞ！



☎秘書課 ☎24-1111

人の動き

6月1日 現在  
総人口 252,135人 (-36人)  
男性 119,024人 (+30人)、女性 133,111人 (-66人)  
世帯数 105,429世帯 (-20世帯)  
5月中の動き  
転入 665人、転出 589人、出生 173人、死亡 285人

させば市政だより

テレビ  
NBC 土曜 9:25 ~ 9:30、NCC 土曜 11:40 ~ 11:45  
KTN 土曜 11:45 ~ 11:50、NIB 日曜 6:30 ~ 6:35  
ラジオ  
FM長崎 火曜 9:05 ~ 9:10  
FMさせば 金曜 13:00 ~ 13:55、土・日曜 8:00 ~ 8:55(再放送)  
新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

市長記

市政情報の宝庫「広報させば」が800号を迎えました



発行を受け継いでまいりました。

この広報紙は、その時々々の佐世保市の情報をタイムリーに市民の皆さまにお伝えすることができると同時に、市の歴史記録としても、後世に残すことができる貴重な記録紙でもあります。

当初はタブロイド版4ページで、各町内の班(区)回覧だったのですが、6年後の昭和32年4月号からは、各世帯へ配布されることになりました。その後、平成16年には全ページフルカラー(一部カラー化は平成元年)、となり、ページ数も23年度からは毎月32ページと充実し、市民の皆さまと市政をつなぐ懸け橋として、歴代市長や市民の思いなどをお伝えてまいりました。

このように800号まで発行することができたのも、毎月各世帯に届けていただいている町内会の関係者やご愛読いただいている市民の皆さま、視覚障がい者の方の

※広報紙800号を記念した記事は8・9ページにも掲載していますので、併せてご覧ください。

ため毎月音声訳をしていただいている「佐世保音声訳の会」の皆さまなど、関係する皆さまお一人一人のご理解とご協力の賜物であり、改めまして心から感謝の意を表する次第であります。

また、同時に、発行する裏方として、最新の市政情報やトピックスなどの記事を集め、締め切り日とにらめっこで、企画・編集・校正に当たっている歴代広報担当者の熱意と努力も忘れてはなりません。市役所の担当業務の仕事ではありますが、歴代の広報担当の職員にもお労いを申し上げたいと思います。

ところで、最近は紙媒体の広報ばかりでなく、テレビやラジオ、インターネットを介したSNSなど、さまざまな広報手段がありますが、いつでも、何回でも見ることができ、内容を詳しくお伝えできるのは、何と言っても広報紙が最も優れていると思います。

市民の皆さまには、どうか、情報提供、市民交流媒体としての「広報させば」の必要性や重要性を今後ともご理解いただき、毎号必ず目を通して、ご自身の生活に、地域との交流や振興に、観光情報やビジネス情報収集などに、ご活用いただきますようよろしくお願いいたします。「広報させば」は市政情報の宝庫です。

佐世保市長 朝長 則男

徳通信 64

聞いて「徳」する話 26 あいさつに見た希望

先日、仕事帰りに市立図書館へマイカーで移動中、白岳町の市道で直前の車が信号機のない横断歩道の手前で停止しました。

そこには小学4年生くらいの女子児童が1人いて、渡る前、渡る途中、そして渡り終えた後の3回、深々と頭を下げ、「ありがとうございます」と丁寧にあいさつをしました。私はその光景を見て、涙が出るほど感動しました。

私の周りでは、あいさつしないで無視する人が時々います。あいさつはより良いコミュニティを形成するための基本です。職場だけに限らず、地域社会においても、私も含め、あいさつをしない大人の多いことが非常に残念です。

だからこそ、このような地域社会のかがみのような

児童がいたことに希望を感じました。そして「ありがとう」と言いたいです。

花高一丁目 横岩 龍治(50代)

【聞いて徳する話】募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市ホームページからどうぞ。

事務局

佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)  
〒857-0054 栄町4番11号  
電話・ファクス 23-2856  
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp